



待ちて天与の雨や御降りとぞ呼ばむ
 荒星や昂は空の泉なす
 雪の夜は雪の音聴き眠らむか
 垂直に火箸突き刺し狩の宿
 湯冷めして部屋の奥行長くなる
 猛吹雪天なく地なく我もなく
 凍滝の黙をつらぬく一行詩
 トロ箱に仮寝す鮫鱈の四角
 初明り師系といふは舳ひ綱
 櫂置きて素手に集むる蓮の骨
 木の肌にわが手の温み鷺替へて
 波音は冬の音楽日本海
 狐火のあれは兵器の見本市
 檣灯の木枯びかりしてゐたる
 神の笛なら狼は眼を覚まし

千田 百里
 辻 美奈子
 大畑 善昭
 荒井千佐代
 細川 洋子
 小野 寿子
 佐々木よし子
 平松うさぎ
 千田 敬
 甲州 千草
 大沢美智子
 福島 茂
 井原 美鳥
 小林 陽子
 小坂 尚子

嘶きし波のぬけ殻波の花
 百秒の工事信号待つ師走
 浦一番無口な男海鼠突く
 頬ぎゆつと膨らみジャズの冬あたたか
 枯野行く風の音ほか全て空
 オラトリオ降り来るやうや冬銀河
 てのひらに陶土吸ひつく寒土用
 垂直に寒の降り来て瑞巖寺
 しろがねの水になほ濡れ滝凍つる
 一線の空と海かな野水仙
 毛糸編む砂漏しづかに時刻む
 流木は畏怖のかたり部北ならひ
 短めのことば生き生き年の市
 威をはりて寂しがり屋の鏡餅
 少しだけ負荷かけ生きむ去年今年

木村あさ子
 道端 齊
 中村 重幸
 大矢 恒彦
 広海あぐり
 七田 文子
 本池美佐子
 栗坪 和子
 須賀ゆかり
 大橋 松枝
 古居 芳恵
 安藤しおん
 吉村さよ子
 中谷 恭子
 有井千枝子

